



外国人患者受入れ体制整備に使える 補助金の一覧と活用事例

目次

- 01 外国人患者対策に使用できる補助金の種類
- 02 医療通訳者、外国人患者受入れ医療コーディネーター配置等支援事業とは
- 03 団体契約を通じた電話医療通訳の利用促進事業とは
- 04 インバウンド安全・安心対策推進事業とは
- 05 都道府県の補助金の例：東京都
- 06 ご支援事例①
- 07 ご支援事例②
- 08 このような医療機関様におすすめ
- 09 補助金申請の準備のコツ
- 10 mediPhoneでは補助金に関する情報をお届けしています



外国人患者対策に使用できる補助金の種類

厚生労働省

- ▶ 医療通訳者、外国人患者受入れ医療コーディネーター配置等支援事業
- ▶ 団体契約を通じた電話医療通訳の利用促進事業

観光庁

- ▶ インバウンド安全・安心対策推進事業

都道府県

- ▶ 東京都 など



医療通訳者、外国人患者受入れ医療コーディネーター配置等支援事業とは

事業名	医療通訳者、外国人患者受入れ医療コーディネーター配置等支援事業
補助対象事業者	「拠点的な医療機関」（カテゴリー1、カテゴリー2）に選定されている医療機関
補助対象要件	<ul style="list-style-type: none">・「拠点的な医療機関」に選定されていること・院内に「医療通訳者」、「外国人患者受入れ医療コーディネーター」を配置すること・拠点的な医療機関としての取組みを行うことができること など
補助対象経費	事業の実施に必要な、職員基本給・職員諸手当・非常勤職員手当・諸謝金・旅費・消耗品費・印刷製本費・会議費・社会保険料・備品費（図書）・光熱水料・通信運搬費・雑役務費・借料及び損料・委託費（これら費用に関するもの）
補助率	補助対象経費2分の1
令和6年度の 応募受付時期	令和6年4月1日（月）から令和6年4月15日（月） ※年度によって異なる可能性があります。最新の情報はHPを見て確認してください。

団体契約を通じた電話医療通訳の利用促進事業とは

事業名	団体契約を通じた電話医療通訳の利用促進事業
補助対象事業者	<ul style="list-style-type: none">・ 地方公共団体・ 病院団体・ 医師会・ 複数の医療機関から構成される法人等
補助対象要件	<ul style="list-style-type: none">・ 本事業を実施する上で必要な経営基盤を有し、資金等に関する管理能力を有すること・ 本事業を行う能力・組織体制を有すること など
補助対象経費	事業の実施に必要な、旅費・消耗品費・印刷製本費・雑役務費（電話医療通訳料等）・通信運搬費・借料及び損料・委託費（これら費用に関するもの）
補助率	補助対象経費 2分の1
令和6年度の 応募受付時期	令和6年2月22日（木）から令和6年3月13日（水） ※年度によって異なる可能性があります。最新の情報はHPを見て確認してください。

インバウンド安全・安心対策推進事業とは

事業名	観光庁 インバウンド安全・安心対策推進事業
補助対象事業者	病院・診療所等を設置し、または管理する者（「〇訪日外国人患者受入機能の強化」）
補助対象要件	病院、診療所、歯科診療所とし、「外国人患者を受け入れる医療機関の情報を取りまとめたリスト」（観光庁・厚生労働省）に登録されている、または登録の見込みがあるもの
補助対象経費	訪日外国人患者受入機能強化のための整備に要する経費 A. 使用目的が本事業の遂行に必要なものと明確に特定できる経費 B. 補助金交付決定後に、契約・発注により発生した経費 C. 証拠書類・見積書等によって契約・支払金額が確認できる経費
補助率	補助対象経費2分の1以内
令和6年度の 応募受付時期	2024年6月3日（月）～2024年9月27日（金）17:00 ※令和5年度補正予算分の募集は令和6年2月14日（水）～令和6年9月27日（金）17時 ※年度によって異なる可能性があります。最新の情報はHPを見て確認してください。

都道府県の補助金の例：東京都外国人患者受入れ体制整備支援事業

事業名	東京都外国人患者受入れ体制整備支援事業
補助対象事業者	医療機関（地方公共団体、独立行政法人、特定地方独立行政法人、独立行政法人、特定独立行政法人、国立大学法人及び東京都保健医療公社が設置する医療機関を除く）
補助対象要件	<ul style="list-style-type: none"> ・「外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関」に選定されている医療機関、または、応募を検討している医療機関 ・外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）の認証を取得したことがない医療機関 ・この補助金の交付を受けたことがない医療機関
補助対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ア 多言語対応ツールの作成又は導入に係る費用 イ 院内文書の多言語化のための翻訳・作成に係る費用 ウ 案内表示の多言語化のための翻訳・作成に係る費用 エ ホームページの多言語化のための翻訳・作成に係る費用 オ 外国人患者の受入れに対応するためのシステムの導入・改修にかかる費用 カ 職員の語学力の向上等（研修、通信講座等の受講）にかかる費用
補助率	補助対象経費2分の1 ※基準額：1医療機関当たり1,300千円
令和6年度の応募受付時期	第一次公募：令和6年5月29日～7月19日 追加公募：～令和6年11月15日 ※年度によって異なる可能性があります。最新の情報はHPを見て確認してください。

補助金を活用した体制整備 | メディフォンによるご支援事例①

A 病院

導入前の状態

- ・院内表示が日本語のみで外国人患者さんが迷うことがあった。
- ・掲示物が紙で多数掲示されており、煩雑であった。

支援内容

- ・掲示物及び院内サインの多言語化(英語・中国語)
- ・デジタルサイネージ導入(5台)



支援の結果

- ・多言語化により、外国人患者さんが円滑に院内を移動できるようになった。
- ・院内の掲示物が整理され、院内掲示の視認性が向上した。

B 病院

導入前の状態

- ・多様な外国人患者さんの来院があり希少言語対応で困っていた。
- ・体制整備を開始したところであり、職員に知識がなく対応に苦慮していた。



支援内容

- ・翻訳機能搭載タブレット端末の導入
- ・受付用の多言語指差しツールの制作
- ・院内スタッフ向け研修会の開催

支援の結果

- ・希少言語対応で外国人患者さんとのコミュニケーションが円滑になった。
- ・ツール導入と研修実施で、スタッフの対応力が向上し、効率化とストレス軽減につながった。

補助金を活用した体制整備 | メディフォンによるご支援事例②

C 病院

導入前の状態

- ・外国人患者を健診で積極的に受け入れていきたいが、院内の多言語化が進んでおらず、また院内掲示が不ぞろいであった。
- ・院内掲示を統一すると同時に多言語化を進めたいと考えていた。

支援内容

- ・デジタルサイネージの調達
- ・ホームページの多言語化
- ・院内掲示の多言語化、内容の更新、設置



支援の結果

- ・多言語化により、外国人患者さんが円滑に院内を移動できるようになった。
- ・院内の掲示物が整理され、院内掲示の視認性が向上した。

D 病院



導入前の状態

- ・訪日外国人観光客の来院が多く、年々増加している。
- ・病院として、未収金やトラブルとなるリスクを抑え、円滑に受け入れを行うために、体制整備を進めようとしていた。

支援内容

- ・院内文書の翻訳
- ・外国人患者対応に関する研修会の実施

支援の結果

- ・多言語化された文書を渡せるようになり、コミュニケーションが円滑になった。
- ・研修実施で、スタッフの対応力が向上し、効率化とストレス軽減につながった。

このような医療機関様におすすめ



外国人患者受入れ体制整備の必要性は感じているが、費用をかけることに同意を得るのが難しい。

外国人患者の受入れ体制整備は『やったほうが良い』と思うが、きっかけがなく進められていない。

多言語対応の必要性は感じているが、何から手を付けていいか分からない。



補助金活用で解決！

補助金申請の準備のコツ

✔ 申請期間前から準備する

- 印鑑証明書を入手する
- 各申請用紙で、昨年と形式が変わらないものはダウンロードし、記載できるところは記載しておく
例) ・東京都外国人患者受入れ体制整備支援事業補助金に係る交付申請書
 - ・東京都外国人患者受入れ体制整備支援事業計画書
 - ・歳入歳出予算書（見込書）抄本
 - ・経費所要額調
- 事業計画書を記入する中で、どの体制整備をどのくらいするのか検討していく
- 外部業者に問い合わせ

補助金事業の公示から〆切までが非常に短い補助金も少なくないため、できるところから準備を進めておきましょう

✔ 事業計画書のための情報収集をおこなう

- 基本情報 病床、標榜診療科、外国人対応部署、受付時間、ホームページ、支払方法、外国人自費診療時の金額
- 外国人患者への対応方法 言語別対応方法
- その他 翻訳体制、海外医療保険会社との連携、外国人患者への対応に関する研修
- 外国人患者の受入れ実績について 外国人患者数（直近3カ月：新外来患者数、新入院患者数）、日本人患者数及び日本語で対応した外国人患者数、患者数統計、外国人患者の医療保険加入状況、未収金発生状況（発生事例があった場合の詳細）

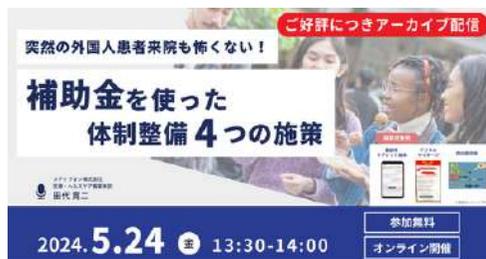
医療機関内にある情報をいかに収集するかがポイントです

mediPhoneでは補助金に関する情報をお届けしています

セミナー開催



メディフォンでは補助金に関するセミナーを開催しています。質疑応答の時間もありますので疑問点もすぐに解決できます。

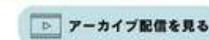


[セミナーの一覧はこちら](#)

メール配信



補助金の応募概要のお知らせや、活用事例の紹介などをメールマガジンで配信しています。



[メールマガジンの登録はこちら](#)